

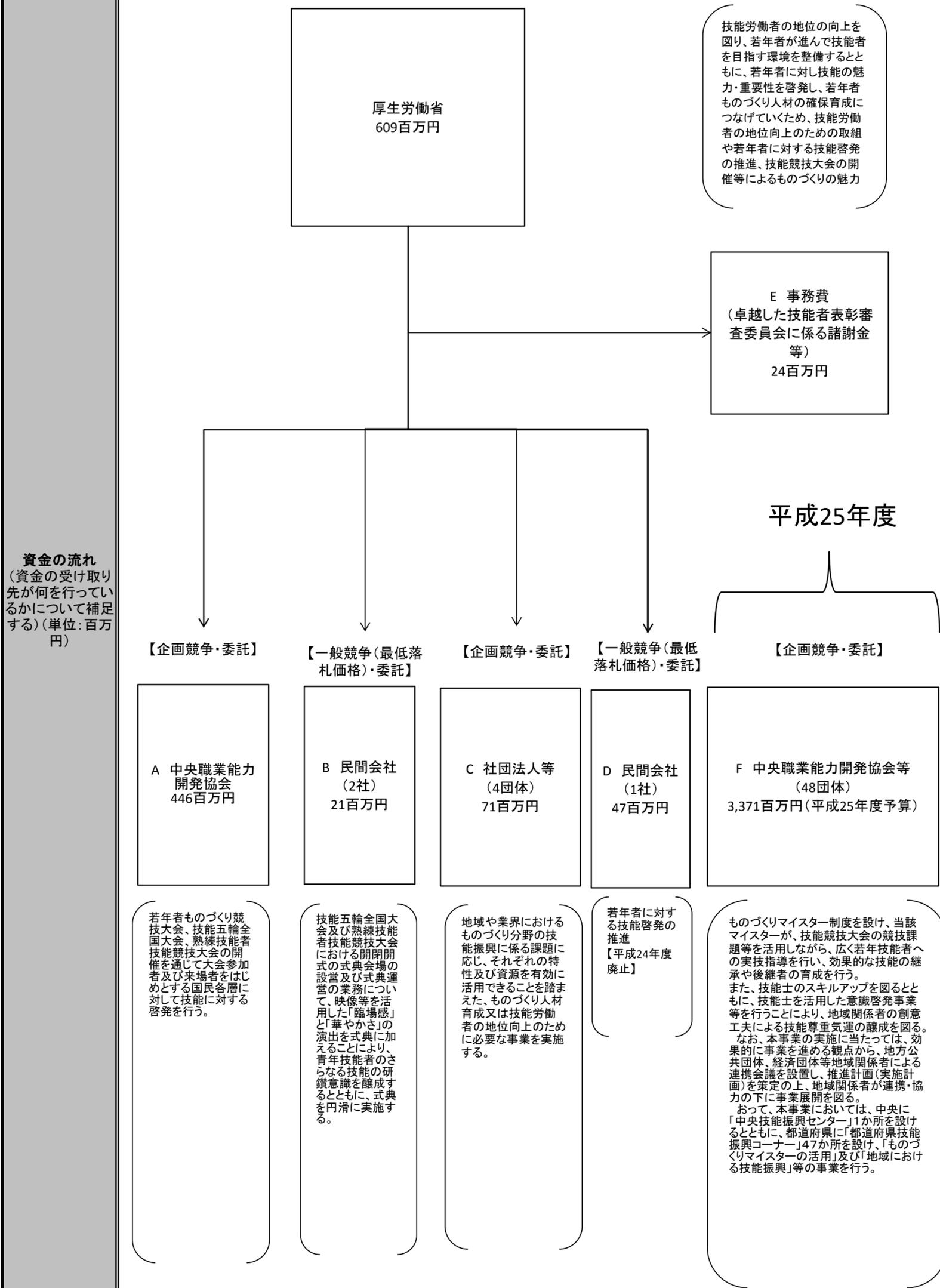
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	技能継承・振興対策費(ものづくり立国の推進)	担当部局庁	職業能力開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度	担当課室	能力評価課	能力評価課長 伊藤 正史			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	政策・施策名	V-3-1 技能継承・振興のための施策を推進すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第63条第1項第7号、雇用保険法施行規則第125条の2第2号、第138条第6号及び第10号	関係する計画、通知等	第9次職業能力開発基本計画(平成23年度厚生労働省告示第143号)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	若年者のものづくり離れ・技能離れがみられる中で、技能労働者の地位の向上を図り、若年者が進んで技能者を目指す環境を整備するとともに若年者に対し技能の魅力・重要性を啓発し、若年ものづくり人材の確保・育成につなげていくことを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	企業や業界団体による主体的な取組を活用し、技能労働者の優れた技能の重要性について企業や国民に広く啓発する技能士活用強化事業の展開を図るとともに、優れた技能者の製作実演や作品に直接触れたり、若年技能者との交流等を通じて、若年者に対し技能の魅力や素晴らしさを訴え、技能に対する関心・興味を喚起する。また、技能の素晴らしさ、重要性について若者をはじめとした国民各層に深く浸透させ、技能の受け皿となる若年人材の継続的な確保等を実現させるための各種技能競技大会や卓越した技能者の表彰をはじめとする各種表彰等に加え、若年技能者人材育成支援等事業を実施する。 なお、本事業における「若年者に対する技能啓発の推進事業」については、平成24年度をもって廃止する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	956	714	624	4,075	4153
		補正予算					
		繰越し等					
	計	956	714	624	4,075	4153	
執行額	708	684	609				
執行率(%)	74.1	95.9	97.6				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	平成24年度の主な成果目標①技能五輪全国大会の来場者のうち、若年者層において将来のキャリア形成に向けた職業能力の習得や技能検定の受検等を予定する割合 80%以上 ②若年者に対する技能者の魅力増進事業の来場者のうち、技能について魅力・重要性を認識した者や職業能力の習得等への関心を持った者の割合 80%以上 平成25年度の主な成果目標①技能五輪全国大会の来場者のうち、若年者層において将来のキャリア形成に向けた職業能力の習得や技能検定の受検等を予定する割合 ②ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育機関の満足度	成果実績	%	① 89.5 ② 82.5	① 90.9 ② 58.6	① 77.3 ② 86.1	① 80.0 ② 80.0
		達成度	%	① 111.9 ② 103.1	① 113.6 ② 73.3	① 85.9 ② 107.6	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	平成24年度の主な活動指標①技能五輪全国大会の開催数及び実施職種数 ②若年者に対する技能者の魅力増進事業の開催数 平成25年度の主な活動指標①技能五輪全国大会の開催数及び実施職種数 ②ものづくりマイスターの認定者数及び活動数	活動実績(当初見込み)			①1回(39職種) ②次世代フェスタ1回	①1回(40職種) ②1回	①1回(40職種) ②1回
単位当たりコスト	平成24年度 ①1,323円/人 ②8,060円/人 平成25年度 ①1,323円/人 ②13,236円/人	算出根拠	平成24年度における主な単位当たりコスト 開催経費に係る、 ①開催経費150,810千円/来場者数114,000人(平成24年度実績より算出) ②開催経費47,250千円/来場者数5,862人(平成24年度実績より算出) 平成25年度における主な単位当たりコスト ①開催経費150,810千円/来場者数114,000人(平成24年度実績より算出) ②ものづくりマイスターに係る経費676,599千円/マイスターによる実技指導の延べ受講者数51,120人(平成25年度予定経費及び活動目標より算出)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	(目)技能継承振興推進事業委託費	4,041	4,122	若年技能者人材育成支援等事業における、ものづくりマイスター制度の拡充等による増			
	本省事務費(諸謝金、職員旅費、委員等旅費、庁費、卓越技能者褒賞金)	34	31				
	計	4,075	4,153				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	若年者のものづくり離れ・技能離れが見られる中、技能の素晴らしさ、重要性について若者をはじめとした国民各層に深く浸透させ、技能の受け皿となる若年人材の継続的な確保を実現するため、本事業は国費を投入して実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	技能五輪等の技能競技大会については、全国規模の大会であるため、地方自治体、民間等に委ねられる内容ではなく、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	若年者のものづくり離れ・技能離れが見られる中、技能の素晴らしさ、重要性について若者をはじめとした国民各層に深く浸透させ、技能の受け皿となる若年人材の継続的な確保を実現するため、本事業は優先度の高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	本事業の目的・性質により、最低価格落札方式により難しく、総合評価落札方式への移行も困難であることから、企画競争によることとした。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	単位当たりコストについては、妥当であると考ええる。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途は、各種競技大会の実施、若年技能者への技能の継承等に必要経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動指標である技能五輪全国大会の開催数及び実施職種数等について、当初見込み通り行われている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	<p>○委託先を選定するに当たって、企画書の内容を評価することにより、適正な事業内容となっているか確認しているところ。また、委託契約時に、実施計画が企画書の内容と相違していないか確認している。</p> <p>○事業終了時に提出される、事業の実施結果報告及び精算報告により支出内容及び事業の実施状況を把握している。</p> <p>○各種技能競技大会等の会場に職員を派遣し、指導・監督を行うとともに、その実施状況等を把握している。</p> <p>○本件事業においては①技能五輪大会の開催数及び実施職種数②若年者に対する技能者の魅力増進事業の開催数を活動指標としているところ、平成24年度においては当初見込み通りの実績となっており、事業の目的にそった運営がなされているものと判断することができる。</p>				
外部有識者の所見					
外部有識者の点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事 業 内 容 の 改 善	効果的・効率的な事業運営がなされるよう、活動実績等を勘案・検証したうえで予算要求に反映していくこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮 減	若年技能者人材育成支援等事業の拡充を要求しているため全体は増額となっているが、平成24年度の成果目標を達成できなかった技能競技大会等の実施については、概算要求額の見直しを図った。(反映額:▲82百万円)				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	795	平成23年	714	平成24年	628

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

ものづくり立国の推進事業に係る資金の流れ(平成24年度)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.中央職業能力開発協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	消耗品費、競技会場等借料	229			
その他	旅費、消費税等	90			
人件費	職員の配置	92			
謝金	課題作成委員、競技委員等への謝金	35			
計		446	計		0
B.株式会社ステージ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	会場設営費、ステージ設営機材・備品借用費等	8			
人件費	運営人件費	5			
その他	業務諸経費、消費税	2			
計		15	計		0
C.一般社団法人全国技能士連合会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	ものづくり体験材料費、会場借料等	9			
その他	旅費、消費税等	4			
人件費	運営人件費	3			
謝金	専門アドバイザー、実行委員等への謝金	2			
計		18	計		0
D.株式会社電通			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	会場借用費・電気、清掃費、広報宣伝費等	33			
人件費	運営人件費	6			
管理費	業務諸経費	6			
その他	消費税	2			
計		47	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央職業能力開発協会	各種技能競技大会の企画・運営及び技能五輪国際大会出場予定選手の育成強化等を実施する。	446	随意契約 (企画競争)	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ステージ	技能グランプリにおける開閉会式会場設営及び運営業務を実施する。	15	3	89.9
2	株式会社ながのアド・ビューロー	技能五輪全国大会における開閉会式会場設営及び運営業務を実施する。	6	4	81.6

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人全国技能士連合会	九州・沖縄ブロックにおいては福岡県福岡市で、関西ブロックにおいては大阪府八尾市で、技熟練技能者による実演・ものづくり体験指導、作品展示等や、全技連マイスターの教育現場等への派遣によるものづくり体験指導を行う。	18	随意契約 (企画競争)	
2	株式会社日刊工業新聞社	熟練技能者による研修事業(座学・実技指導・課題制作)や、展示会場における講習及び制作実演を行う。	18	随意契約 (企画競争)	
3	一般社団法人日本造園組合連合会	熟練技能者の技を継承し、庭づくりの提案力向上を目的とした研修事業や、造園教育機関の指導者を対象にした造園実習指導力向上研修等を行う。	18	随意契約 (企画競争)	
4	JAM	3地域(埼玉県・岐阜県・大阪府)にコーディネーターを配置し、当該地域の工業高校・中小企業へ熟練技能者を派遣し、実技指導を行う。	17	随意契約 (企画競争)	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社電通	若年者に対する、技能展のイベント開催及びトークセッション、講演等の開催を実施する。	47	3	96.3

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					